

天文学とプラネタリウム

第133回



www.tenpla.net



高梨直紘 (東京大学)
平松正顕 (国立天文台チリ観測所)

今月のお題

星の一生トートバッグ、新バージョン開発中です

惑星の名前案、考えてみました



三鷹アストロクラブと六本木天文クラブでも、惑星の名前案を応募しました！

昨年より国際天文学連合 (IAU) が主催して行われていた太陽系外惑星へのネーミングキャンペーン、とうとう大詰めを迎えています。20個の太陽系外惑星を持つ恒星系に対して、その惑星や、恒星系によっては主星についても名前をつけられるというのが、今回のこのキャンペーンの内容。小惑星ならまだしも、なかなか惑星や恒星に名前をつけるチャンスはないので、まさに千載一遇の機会です。

IAU に登録された世界中の天文クラブに、その提案権が与えられるのですが、天プラが運営に関わるふたつのクラブ活動、三鷹市立第四小学校での小学生向け活動「三鷹アストロクラブ」と、六本木ヒルズでの大人向け活動「六本木天文クラブ」もこの期を逃さず、キャンペーンに参加し、名前を応募することにしたのです。

火山に温泉、桃と犬

まずはアストロクラブです。なにイメージがないところから名前を考えるのは難しいとのこと、天プラのコアメンバーでもある太陽系

外惑星の研究者から話を聞いたあとに、ワークショップ形式で名前を考える事にしました。今回名付ける惑星はホットジュピターで、どうも熱いらしい……。ならば、「情熱-バラ」だということ。なかなか熱い名前案も挙がりましたが、大部分は「さんご-ちゃんあご」「アイン-まぶた」「しやり-ネタ」……と大喜利状態。まあ、太陽系だって別に環境と関係なく名前ついているしね。みんなで投票の結果、「火山-温泉」という、なかなか日本らしい命名案に落ち着きました。ちょうどおおぐま座の恒星系だったので、柄杓 (ひしゃく) からの連想もあったようですね。この名前案は、大人じゃなかなか思いつかない。

では、大人はどんなアイデアを思いついたのでしょうか？六本木天文クラブでは、ウェブサイトから活動に参加している人たちに応募を呼びかけ、集まったアイデアを選考委員会で投票にかけて選ぶという方式で命名案を決定しました。その結果、見事選ばれたのは「Persikos (ペルシコス) -Kuon (クオン)」という案。おお、横文字で大人っぽい。Persikos は古代ギリシア語で桃のこと、一方、Kuon は犬を指します。命名対象に選んだ恒星系が国立天文台の岡山天体



三鷹アストロクラブで行った系外惑星命名ワークショップの様子。

物理観測所で発見されたものだったのですが、岡山と言えば桃、桃といえば桃太郎、そして桃太郎なら最初のお伴は犬でしょう、ということになり命名となりました。理由も大人っぽい！

それぞれの名前案は、この後、他の世界中のクラブの皆さんが提案された名前たちと一緒に一般投票に掛けられて、8月にハワイで行われる国際天文学連合の総会にて発表される予定です。いったいどんな名前が選ばれるのか、楽しみです。皆さまもぜひご注目ください！